

近年の高度化された車両の診断に。

車両診断テスター

DT-3300



ハイブリッド車から
輸入車、
トラックやバスの
診断作業をサポート!

高機能なDT-3300に
オシロスコープ機能を
持たない高性能タイプの
DT-3300-STNが
新登場!

Japan venture

DT-3300-OSI

オシロ付

DT-3300-STN

オシロ無

オシロスコープ

- ・2CHのストレージオシロを搭載。
- ・測定条件自動設定の採用で、簡単に誰でも各種信号の観測が可能。

疑似信号

- ・アナログ信号、パルス信号を出力。
- ・センサ信号を補正して出力する機能及び周波数やデューティの設定可能。

高性能でリーズナブル

- ・オシロスコープの機能は搭載していませんが、診断車種、基本的な診断機能は、DT-3300-OSIと同じです。

大きな画面

- ・12cm×9cmワイドLCDを搭載し、8項目のデータを1画面に表示可能。
- ・ソフトキーの採用で操作が簡単。



CAR・TB購入後にソフト追加可能

- ・CAR(乗用車ソフトセット)でご購入後に、24V車ソフト追加購入可能。
- ・TB(24V車ソフトセット)でご購入後に、乗用車ソフト追加購入可能。

3種類から選択できます

- ALL フルセット(乗用車、24V車)
- CAR 乗用車セット(国産乗用車&輸入車)
- TB 24V車セット(トラック&バス)

CAR・TB購入後にソフト追加可能

- ・CAR(乗用車ソフトセット)でご購入後に、24V車ソフト追加購入可能。
- ・TB(24V車ソフトセット)でご購入後に、乗用車ソフト追加購入可能。

3種類から選択できます

- ALL フルセット(乗用車、24V車)
- CAR 乗用車セット(国産乗用車&輸入車)
- TB 24V車セット(トラック&バス)



CAR

乗用車セット

DT-3300 に乗用車ソフトをセットしました。

ALL

フルセット

DT-3300 に乗用車ソフトと24V車ソフトの両方をセットしました。

TB

24V車セット

DT-3300 に24V車ソフトをセットしました。

点火コイル・パワーテスト



疑似信号で点火コイル、テスト(2次電圧20,000V)

- 正常コイルは(太く、青い火花が飛ぶ)
- 不良コイルは(細い火花、または火花が飛ばない)

イグニッション2次波形測定



オシロスコープでイグニッション2次波形を観測

- 各気筒の点火波形を比較し、点火不良気筒の検出や始動不能時の火花確認に最適。

DT-3300-OSI,STN共通オプション



DT-ISZ
平成19年以前のいすゞ車の診断及び平成18年以前のいすゞ車の診断に。



DT-3003
車載センサユニットは水温センサの特性異様に異なる診断に。

DT-3300-OSI 専用オプション



DT-3001 ドライブユニット



DT-PIC
ピンクアップセンサ



DT-3002 測定回路接続アダプタ

DT-3300セット (オプション除く)

・標準診断カプラ装着車の診断作業が行えるセットです。
・メーカ専用カプラ装着車診断は専用診断カプラが必要です。
・平成19年以前のいすゞ車は、24Vカプラセットが必要です。

製品名	仕様および見出し
アルミ製ケース	490×330×150
D T-3300本体	228×148×55
OBDケーブル	3m標準仕様品
A Cアダプタ	電源供給
U S Bケーブル	1m標準仕様品
G N Dクリップ	アース
測定ケーブル	信号測定
プローブ	アカ、ウロ

DT-3300-OSI オシロ付

DT-3300-STN オシロ無

●診断車種一覽

		DT-3300-オシロ付 DT-3300-OSI			DT-3300-オシロ無 DT-3300-STN		
		OSI-ALL	OSI-CAR	OSI-TB	STN-ALL	STN-CAR	STN-TB
乗用車	軽自動車	●	●		●	●	
	小型車	●	●		●	●	
	ハイブリッド	●	●		●	●	
	電気自動車	●	●		●	●	
	乗用車	●	●		●	●	
	1BOX	●	●		●	●	
	輸入車 ※1	●	●		●	●	
24V車 ※2	小型トラック	●		●	●		●
	中型トラック	●		●	●		●
	大型トラック	●		●	●		●
	小型バス・マイクロバス	●		●	●		●
	路線バス	●		●	●		●
	大型バス	●		●	●		●
	フォークリフト	●		●	●		●

※1:輸入車は、診断ソフト機能表をご覧ください。

※2:24V車診断ソフト対応表をご覧ください。

●印が診断可能な車種です。

●機種別診断機能一覽

		DT-3300-OSI			DT-3300-STN		
		OSI-ALL	OSI-CAR	OSI-TB	STN-ALL	STN-CAR	STN-TB
診断機能	故障コード表示	●	●	●	●	●	●
	故障コードの消去	●	●	●	●	●	●
	FFD (フリーズフレームデータ)	●	●	●	●	●	●
	データ表示	●	●	●	●	●	●
	データ記録	●	●	●	●	●	●
	データ比較	●	●	●	●	●	●
	アクティブテスト	●	●	●	●	●	●
	作業サポート	●	●	●	●	●	●
	疑似信号テスト	●	●	●			
	ストレージオシロ	●	●	●			
電圧測定	●	●	●				

●印が機種別診断機能です。

●オプション一覽 (有償)

		DT-3300-OSI			DT-3300-STN		
		OSI-ALL	OSI-CAR	OSI-TB	STN-ALL	STN-CAR	STN-TB
オプション	DT-ISZ 24V車カプラセット	●	①	●	●	①	●
	DT-3001 ドライブユニット	●	●	②			
	DT-PIC ピックアップセンサ	●	●	②			
	DT-PIC DT-3001 点火コイルテストセット	●	●	②			
	DT-3002 測定回路接続アダプタ	●	●	●			
	DT-3003 温度信号ユニット	●	●	●	●	●	●

※1:オプションの価格は、別添価格表をご覧ください。

①印は、24V車ソフトを追加した場合に利用できるオプションです。
②印は、ダイレントイグニッション搭載車に利用できるオプションです。

●印が各機種に利用できるオプション(有償)です。

● 乗用車診断の特徴

軽自動車からリーフやi-MiEVなどの電気自動車、プリウスやインサイトなどのハイブリッド車まで幅広く対応し、輸入車は、ベンツやBMWなど欧州車に対応しています。



DT-3300

日産リーフの診断

- ・EV/HEV
- ・HVバッテリー
- ・モーターコントロール
- ・充電機

三菱i-MiEVの診断

- ・EV-ECU
- ・BMU
- ・MCU
- ・CMU1~CMU12

ハイブリッド車

- ・HV
- ・i-DCD
- ・IMA
- ・HVバッテリー

一般乗用車

- ・パワートレイン
- ・シャシー
- ・ボディ
- ・アイドリングストップ

対応システム

ENG、EV/HEV、EV-ECU、HV、IMA、電池、ECT
AT/CVT、ABS、ECB、4WD、EPS、エアサス
SRS、AC、BCM、インパネ、その他

エンジン

- ・吸入空気量学習
- ・空燃比学習クリア
- ・ISC学習
- ・バッテリー放電
電流積算値クリア

AT/CVT

- ・AT/CVT学習初期化
- ・Gセンサ0点学習
- ・AT/CVT軸圧学習
- ・電動オイル
ポンプエア抜き

ECB

- ・ヨーレートセンサ0点取得
- ・Gセンサ0点取得
- ・フルード交換時エア抜き

輸入車

- ・サービスリセット
- ・ブレーキパッド
交換時リセット

● 画面表示の手順を参考にスムーズな作業！

※DT-3300画面表示(イメージ)の一部を掲載。

■HV車、電子制御ブレーキ車のブレーキエア抜き手順表示

<p>①</p> <p>ブレーキフルードのエア抜き</p> <p>エア抜き メモリ関連作業 モード移行</p>	<p>④</p> <p>ブレーキフルードのエア抜き</p> <p>以下の条件を確認して下さい。 - 車両が停止していること。 - パーキングブレーキが引いてあること。 - IG ONであること。</p> <p>[次へ]を選んで下さい。</p> <p>戻る 次へ 終了</p>
<p>②</p> <p>ブレーキフルードのエア抜き</p> <p>通常のエア抜き アクチュエータ交換時</p>	<p>⑤</p> <p>ブレーキフルードのエア抜き</p> <p>ブレーキペダルを踏んだ状態でRR輪のブリーダプラグを緩めて下さい。</p> <p>[次へ]を選択して下さい。</p> <p>次へ 終了</p>
<p>③</p> <p>ブレーキフルードのエア抜き</p> <p>ブレーキシステム内のエア抜きを行います 注意:エア抜き中にリザーバタンク内のブレーキフルードが下腹を下回らないように気をつけて下さい。</p> <p>[次へ]を選んで下さい。</p> <p>次へ 終了</p>	<p>⑥</p> <p>ブレーキフルードのエア抜き</p> <p>RR輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けて下さい。</p> <p>[次へ]を選択して下さい。</p> <p>次へ 終了</p>

※説明用にエア抜き作業手順の画面表示(イメージ)の一部を掲載。

■IMA車のスタータテスト

スタータテスト

IMA車のスタータ始動のモータ始動を強制的に止めてスタータ始動させます。
作動回数を入力して、[登録]ボタンを押して下さい。
作動回数を消去する場合は、「0」を入力して下さい。

ENTERキーを押して下さい。

■スタータ作動回数リセット

スタータ作動回数の消去、かきこみ

4/5

スタータ作動回数を消去、書込みます。
作動回数を入力して、[登録]ボタンを押して下さい。
作動回数を消去する場合は、「0」を入力して下さい。

戻る 次へ

■吸入空気量

吸入空気量

注意事項
電子制御スロットルまたはECGS G/U交換した場合は暖機後 無負荷でスロットル全開位置学習を1回または3回行ってから吸入空気量学習を行う必要があります。

確認

吸入空気量

スロットル全開学習操作要領

1. IG SWをON-OFFにする。(OFF後約5秒間保持する)
2. この時スロットルバルブが作動する(作動音がする)ことを確認する。
3. 上記の操作により学習が完了する。

確認

■CVT油圧ポンプエア抜き

CVT油圧ポンプエア抜き

CVT油圧ポンプエア抜き機能
本機能はCVT油圧ポンプ交換時に実施して下さい。
以下の条件を確認して下さい。
・エンジン停止かつIG ON
[次へ]ボタンを押すと CVT油圧ポンプエア抜きを実行します。

次へ

■シケンシャルターボ

シケンシャルターボ

シケンシャルターボに関連するバルブの動作点検を行います。

実行 停止

●トラック&バス診断の特徴



小型車、中型車、大型車、ラフタークレーンやホークリフトなど特殊車両まで対応し、KK、KLなど、10年以上経過した車両から現在発売中の車両まで対応しています。

いすゞ

- ・ENG、スモーカー
- ・ABS、HSA、エアサス
- ・イモビ、BCM、SRS
- ・クラッチフリー、その他
- ・尿素SCR

日野

- ・ENG、AT、プロシフト
- ・ABS、ES
- ・SRS
- ・車両制御、イモビ

三菱ふそう

- ・ENG、AT、INOMAT
- ・モーター、パッチリコントロール
- ・ABS、EZGO
- ・SRS、イモビ、尿素
- ・統合制御、その他
- ・ACM

UDトラックス

- ・ENG
- ・ESCOT
- ・UDS
- ・小型(OEM診断機)

対応システム

ENG、AT、INOMAT、スモーカー、プロシフト、ESCOT
 アイドルストップ、尿素SCR、UDS、ABS、EZGO、HAS
 SRS、BCM、MIMAMORI、クラッチフリー、セルモーターリセット
 DPF強制再生、インジェクタIDコード登録

登録、学習

- ・ポンプ交換時学習
- ・インジェクタID登録
- ・エンジンオイル認識値リセット

強制再生

- ・DPF差圧測定
- ・DPF強制再生
- ・差圧チェック

アイドルストップ

- ・メンテナンスデータクリア
- ・運行データクリア
- ・スタータ作動回数確認、書込み

クラッチフリー

- ・摩耗データ読取
- ・摩耗データ登録

●画面に表示される説明で操作は簡単！

※DT-3300の画面表示(イメージ)の一部を掲載。

DPF強制再生の手順表示と操作説明

DPD強制再生	DPR差圧チェック
作業要領 ①エンジン停止状態(15分以上経過)でエンジンカバーを点検し、オイルレベルを記録する。 ②イグニッションON(エンジン始動しないで)DPD関係の故障コードを点検する。 故障コードがある場合は、消去する。 ③水温80℃以上までエンジンを暖機する。	PAGE 1/1 最大差圧 5.6kpa <hr/> エンジン回転数 600rpm エンジン水温 80℃ 排気温度(IN) 200℃ 排気温度(OUT) 210℃ DPR差圧 1.0kpa

DPD強制再生	DPD再生ステータス
PAGE 1/1 暖機中 <hr/> DPDモード 95 エンジン回転数 600rpm エンジン水温 80℃ 排気温度1 200℃ 排気温度2 200℃ 排気差圧 5.0kpa	PAGE 1/1 実行中 <hr/> エンジン回転数 600rpm DPDモード 5 DPD距離ステータス 3 DPD再生不良 0 DPD再生未完了 0 DPD蓄積ステータス 3

インジェクタIDコードの登録

インジェクタIDコード登録									
6412556756781235789512000000EF									
0	1	2	3	→					
4	5	6	7	←					
8	9	A	B	???					
C	D	E	F	開始					

尿素水添加量テスト

尿素水添加量テスト	
PAGE 1/3	尿素水添加を強制的に作動させます。 ・規定の時間で尿素水を20±3g添加します。
[テスト条件]	・構成部品「AdBlueマリング・ユニット」の取外しを確認します。 ・AdBlueマリング・バルブを適切な計量カップに固定 ・イグニッションON

ターボチャージャー交換リセット

ターボチャージャー交換リセット	
PAGE 1/1	構成部品「ターボチャージャー」交換後の認識作業を行います。
[前提条件]	・イグニッションON ・エンジンアイドリング ・水温:60℃以上

DPR状態表示

DPR状態表示	
PAGE 2/3	
目詰まり警告レベル	OFF
[ON時は洗浄]	
目詰まり危険レベル	OFF
[ON時は洗浄]	
触媒劣化	OFF
[ON時は洗浄]	
触媒劣化仮判定	OFF
[ON時は洗浄]	

エンジン履歴初期化

エンジン履歴初期化	
初期化を行う項目を選択してください。	
<input type="checkbox"/> エンジン履歴データ	
<input type="checkbox"/> PM推積履歴データ	

インジェクタ・シリンダテスト

インジェクタ・シリンダテスト	
PAGE 1/3	
[テスト条件]	・停止状態の車両 ・エンジン回転数を700rpmにします。 ・トランスミッションをニュートラルポジションにします。
[テスト手順]	・制御を実行します。(約10秒間)
インジェクタ・シリンダ1テスト	
PAGE 2/3	・実測値に注目します。 ・実測値が変化します。 ・制御中、エンジンラフが発生します。 ・イグニッションをOFFにした後、再びONします。
[注意事項]	・テスト前に故障コードの点検を実施し、故障コードがある場合は、消去して下さい。 ・テスト実行中、当てない値により故障コード

エンジンオイル認識値リセット

エンジンオイル認識値リセット	
PAGE 1/1	構成部品「エンジンオイル」の認識値をリセットします。
[前提条件]	・イグニッションON ・エンジン停止

カルテを使おう

データ管理ソフト「カルテ」は、参考値データ管理や診断結果をレポートできます。診断テスター使用時に自己診断やデータ表示で診断結果を記録し、事務所のパソコン「カルテ」と診断テスターをUSBケーブルで接続し、「カルテ」を実行して記録データを取込み、データの確認や印刷を行います。

診断結果をレポート

取込んだ診断結果データを印刷し、同診断と合わせて、診断レポートを行えば、信頼性向上にも役立ち、診断の有料化に最適です。

点検・診断・結果表

項目	測定値	標準値	単位	備考
エンジン回転数	1000	1000	rpm	
冷却水温度	80.0	80.0	℃	
吸入空気量	10.0	10.0	kg	
...

参考値データ管理

読取った参考値データは、当社のサーバーに自動的に登録されます。

カルテを使用する全会員が利用でき、参考値データ比較で、異常データを抽出できます。

参考値データ管理画面

項目	値	標準値	単位	備考
エンジン回転数	1000	1000	rpm	
冷却水温度	80.0	80.0	℃	
吸入空気量	10.0	10.0	kg	
...



連続記録データの解析

診断テスターから連続記録データを読み取り、PCの大きな画面に表示し、解析を行います。CSV形式のファイルをエクセルでグラフ化すれば関連するデータ変化の判断が容易です。

TOCS	吸入空気量	冷却水温度	エンジン回転数
40	323.0	17.2	12.5	0.0	2.7	1.1							
39	323.0	17.2	12.5	0.0	2.9	1.1							
38	323.0	17.2	12.5	0.0	3.1	2.1							
37	338.4	18.6	12.5	-3.9	0.0	3.1							
36	338.4	18.6	12.5	4.5	0.0	3.1							
35	338.4	18.6	12.5	5.1	0.0	2.1							
34	323.0	17.2	12.5	0.0	2.9	1.1							
33	320.4	17.2	12.5	0.0	5.0	3.1							
32	317.6	16.8	12.5	0.0	5.1	2.1							
31	335.6	18.2	12.5	3.1	0.0	2.3							
30	338.4	19.2	12.5	4.7	0.0	3.1							
29	338.4	19.2	12.5	-3.9	0.0	3.1							
28	338.4	19.2	12.5	1.1	0.0	1.1							
27	317.6	16.8	12.5	0.0	2.7	1.1							
26	317.6	16.8	12.5	0.0	3.1	2.1							
25	317.6	16.8	12.5	0.0	1.9	0.1							
24	329.4	17.2	12.5	0.0	1.1	0.1							
23	320.4	17.2	12.5	0.0	1.5	0.1							

リアル診断

診断テスターを通信I/Fとしてカルテでエンジンの診断を行います。リアルタイムに自己診断やデータ表示、参考値データ比較が行えます。

リアルタイム診断画面

項目	値	標準値	単位	備考
エンジン回転数	1000	1000	rpm	
冷却水温度	80.0	80.0	℃	
吸入空気量	10.0	10.0	kg	
...

カルテ活用と診断テスターの機能

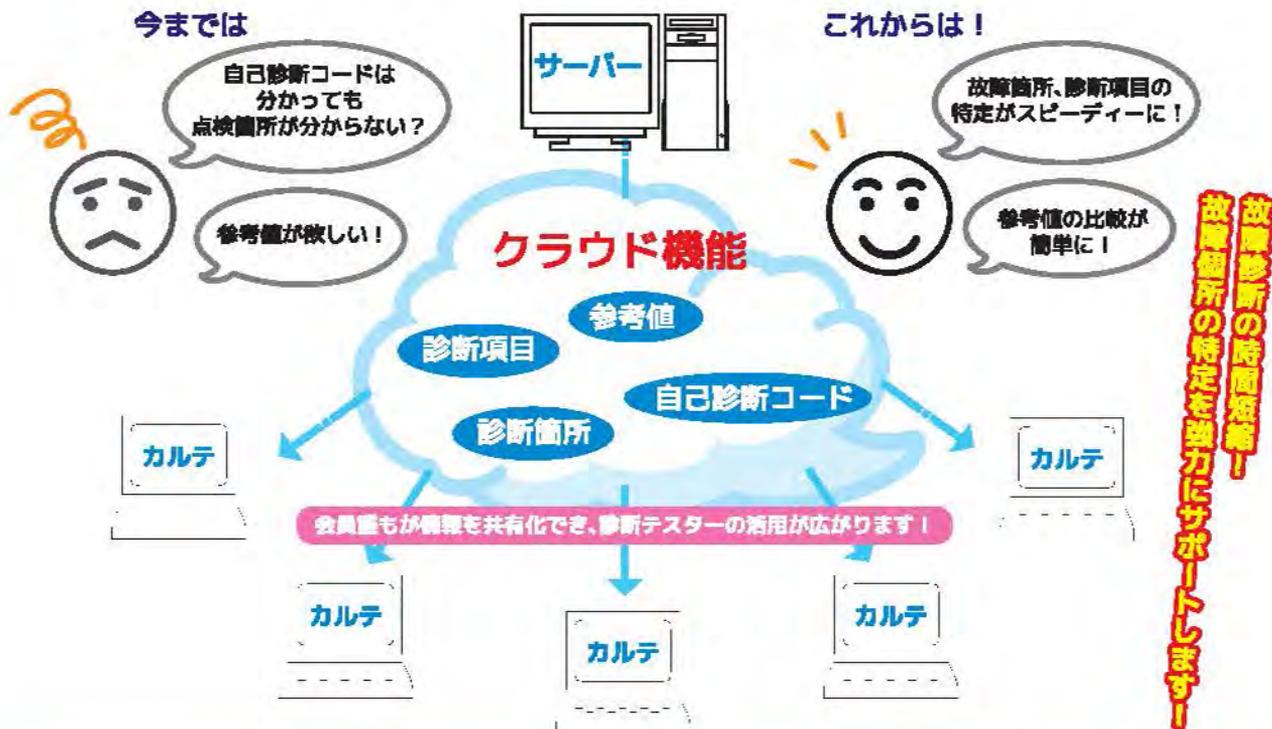
カルテを活用するために診断テスター使用時に診断結果や参考値データを記録する必要があります。

項目	記録目的
自己診断結果記録	レポート、診断内容や点検箇所などの詳細情報を表示する。
アイドル時データ記録	レポート、参考値データ比較と異常項目の表示。
2000回転時データ記録	レポート、参考値データ比較と異常項目の表示。
任意記録	レポート。
連続記録	データ解析を行うために、一定の時間ライブデータを記録します。
アクティブテスト結果記録	レポート。
参考値データ記録	正常なエンジンのデータとして規定条件をパスしたデータを記録。
リアル診断	エンジンの故障コードとライブデータをリアルタイムに送信。

クラウド活用診断システム

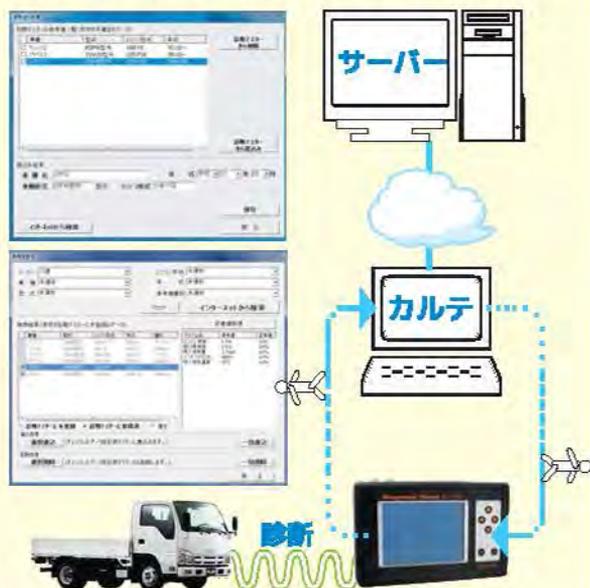
「カルテ」と当社サーバーを活用して高機能な診断システムを実現しました！

診断テスター単体では故障コードと項目を表示するだけで、点検箇所は分かりませんでした。
カルテは読取った故障コードを使って当社サーバーから関連する故障診断の内容や点検箇所を表示します。
又、読取った参考値データをサーバー登録及びダウンロードして、データ比較し、異常データ項目を抽出します。



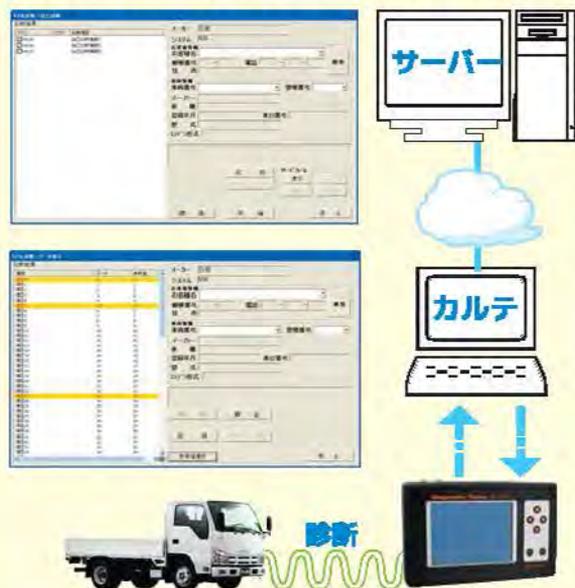
基本システム

診断作業はテスター単体で行います。診断結果や参考値を記録し、事務所のPC「カルテ」と接続しレポート印刷やクラウド機能を使用します。



リアルシステム

診断テスターとノートPCやタブレットPCを接続して「カルテ」のリアル診断を実行します。リアルタイムにクラウド機能を活用できます。



診断ソフトのバージョンアップ

診断ソフトのバージョンアップは、[WRITE-Ⅲ](ライトスリー)をインストールしたパソコンをインターネットに接続して簡単に行えます。

操作の手順は次の通りです。

①パソコンとDT-3300をUSBケーブルで接続



②DT-3300のメニューから[ダウンロード]を選択

③パソコンの[WRITE-Ⅲ]起動します。

④[自動書込み]をクリック

⑤[確認]→[OK]をクリック

操作は簡単です。

※診断ソフトのバージョンアップには、ベンチャークラブにご入会いただく必要があります。

お客様サポート

商品納入時のパソコンセットアップや診断ソフトアップデートの方法など納入時の説明は、担当スタッフが電話でサポートしますのでお気軽にお電話下さい。

お客様にスキャンツールの操作方法を電話にてサポートさせていただきます。

車両のデータ基準値、診断情報及び不具合箇所につきましては、(一般社団法人)日本自動車整備振興会連合会のFAINES(ファイネス)にご加入いただき内容の確認をお願いします。

診断セミナー(有料です)

診断テスターを導入しても、自己診断コード表示と消去機能だけを活用していたのでは、各種センサの特性異常による故障現象や空燃比の異常による故障現象など、エンジン制御と点検方法を理解していないと診断できない故障現象があります。

車両のOBD機能は、もっと多くの情報を提供してくれます。

故障整備の可否は、メカニックの診断技術の有無で決まります。

このセミナーは、ガソリンエンジンやディーゼルエンジンの故障診断を行う上で必要な知識やDPF強制再生など日常行う作業の知識を座学と実技を通して習得し、車両整備が安全確実に円滑に行えるよう診断技術の養成を行うセミナーです。

セミナー概要

	項目	時間	内容
1	座学	1h	エンジンシステムと構成部品
2	座学	1h	各種システムの制御と点検方法
3	実技	1h	診断テスターを使用した基本的な点検方法
4	実技	1h	例題による故障診断の実施と発表
5	その他		開始時間10:00 終了時間15:00



お問い合わせ

製品に関するお問い合わせ TEL:029-305-8667
診断サポートの問い合わせ TEL:050-3492-0344
FAX:029-305-8668 電子メールによるお問い合わせ
Email:info@japan-venture.com
電話での受け付けは、土曜、日曜、祝日を除き9:00~17:00の受付です。

このカタログの記載内容は予告なく変更することがございます。

株式会社 日本ベンチャー

本社

〒310-0852
茨城県水戸市笠原町1532-9
TEL:029-305-8667(代表)

大阪営業所

〒577-0807
大阪府東大阪市菱屋西1-9-10
TEL:06-4306-3455

<http://www.japan-venture.com>

販売店

Japan venture